

平成 26 年第 4 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	15	相澤孝弘	<p>1 産業振興・観光振興の現状と取り組みについて</p> <p>(1) 企業誘致の取り組み状況と、工業用地をオーダーメイド方式から事前に工業団地を造成して準備しておく必要があると思うが、市の考えはどうか</p> <p>(2) 工業製品、食品加工品等の大崎ブランドはどのように関係企業や市場、消費者の評価を得ているのか。また、出荷額の推移と広告宣伝はどのように展開して効果を上げているのか</p> <p>(3) 大崎市を訪れる観光客への「おもてなし」の評価と関係する観光施設等の整備は大きく遅れていると感じるが、スピードアップはできないか</p> <p>2 市民病院事業に対して、市民が求める声をどのように捉え反映していくのか</p> <p>(1) 院外処方箋による調剤薬局の利用者の低下に対する対応と、各種診断書、証明書等の発行期間が長いので短縮を図る事務改善は図れないか</p> <p>(2) 利用者の足の確保にバスを導入したが不満の声が多い。どのように変えていくのか</p> <p>(3) 紹介型の診療に対して十分な理解が得られていない。どのような取り組みをして解消していくのか</p> <p>3 河川管理の取り組みについて</p> <p>(1) 外来種植物等による河川の荒廃にどのような対策を講じていくのか</p> <p>(2) 常襲冠水地域の解消対策を求める市民の声にどの程度応えているのか。また、改修事業の進捗状況をどのように市民に伝えているのか</p> <p>4 学校給食事業について</p> <p>(1) 大崎市内の学校給食から牛乳が消えるのか</p>
2	3	八木吉夫	<p>1 交通安全対策について</p> <p>(1) 通学路の安全対策について伺う</p> <p>2 まちなか再生について</p> <p>(1) 新庁舎周辺整備について、新庁舎と来客者駐車場との間の道路は利用価値を下げるものと思うが、所見を伺う</p> <p>(2) 浦町通線をどのように考えるのか、伺う</p> <p>3 定住促進について（人口減少対策）</p> <p>(1) 少子化、人口減少対策について、子育て支援、若者定住の一環としての低額での分譲住宅建設等の考えはないのか、伺う</p> <p>4 石巻―酒田間東西線について</p> <p>(1) 石巻―酒田間東西線の早期実現について、東はアメリカ大陸、西はユーラシア大陸に通ずる経済ラインの構築が可能と思うが、所見を伺う</p>
3	26	大友文司	<p>1 塚目駅周辺の整備について</p> <p>(1) 駅周辺の道路の整備について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
4	2	佐藤仁一	<ul style="list-style-type: none"> (2) 駅利用者の公衆トイレの整備 (3) 駅発着の市民病院行きのバス運行について 2 市庁舎の備品の管理について <ul style="list-style-type: none"> (1) 庁舎内の労働環境の整備 <ul style="list-style-type: none"> ア 岩出山総合支所の事務用椅子の件 1 大崎市誕生 10 年を迎える平成 27 年の市政運営指針を問う <ul style="list-style-type: none"> (1) 地方分権後の地方自治運営と大崎市政 (2) 市民協働推進における行政体内部の成熟度 (3) 副市長，総合支所長ポストの止揚 2 がん対策推進における罹患者支援の充実策を問う <ul style="list-style-type: none"> (1) 療養生活の質的向上のためのがんサロンの充実 (2) 社会復帰に向けた医療用ウィッグなどの購入支援 3 私学振興における幼児施策の充実と拡充を問う <ul style="list-style-type: none"> (1) 新制度移行に伴う質的改善への指導 (2) 幼稚園の経常的経費への大崎市独自の支援拡充 4 米価暴落の今，市長公約「産業維新」の戦略を問う <ul style="list-style-type: none"> (1) 持続可能な米作地域形成へのライスセンターなどの拡充 (2) 生物多様性おおさき戦略の樹立
5	7	相澤久義	<ul style="list-style-type: none"> 1 新市建設計画事業進捗状況と地域間交通アクセスの整備の考え方について <ul style="list-style-type: none"> (1) 新市建設計画（道路）の進捗状況 (2) 新市建設計画の中でいまだ手つかずの市道整備事業の考え方 (3) 地域と地域を結ぶ新市建設計画環状道路整備建設の考え方 (4) 地域間，近隣市町村間の公共交通網整備の考え方 2 米価下落による地域経済への影響と農業振興策の考え方について <ul style="list-style-type: none"> (1) 米価下落により来年度の市税への影響をどう捉えているか (2) 地域経済に及ぼす影響と対策の考え方 (3) 大崎市独自新規就農者，将来を担う若き後継者育成支援策は (4) 耕作放棄地と環境保全と水害対策 (5) 大崎産米の消費，販売拡大策と海外輸出に向けた販売戦略への誘導策の考え方 (6) 人・農地プランの進捗状況と事業推進の問題点，課題は 3 「女性が輝く社会」へ大崎市の取り組みは <ul style="list-style-type: none"> (1) 大崎市幹部職員へ女性職員の登用目標数値と考え方は
6	22	木内知子	<ul style="list-style-type: none"> 1 大崎市民病院鹿島台分院の病床休止問題等に見る事象の速やかな周知，対応策等について <ul style="list-style-type: none"> (1) なぜ，市民や議会への周知が遅れたのか (2) 休止に至った意思形成過程を示す文書がほとんどないのはなぜか

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	28	大山 巖	<p>(3) 今後の同様な事象発生時の対応は改善されるのか</p> <p>2 認知症の早期発見対策について</p> <p>(1) 現行の方法だけで十分なのか</p> <p>(2) 自宅訪問や認知症検診システムの創設はできないのか</p> <p>3 地形や住宅密集度に見合った消火栓の設置について</p> <p>(1) 現在の設置状況の検証はされているのか</p> <p>(2) 住宅急増地域への設置対応は適切に行われているのか</p> <p>(3) 高台や狭隘な道路等, 地形を考慮した設置がなされているのか</p> <p>4 地区名を示す標識の設置について</p> <p>(1) 標識設置の構想をどのように考えているか</p> <p>(2) 市民生活に不便を来している箇所へは即時対応をすべきではないか</p> <p>1 人口減少問題対策について</p> <p>(1) 働き場を今日までよりよい確保の考えはないのか</p> <p>(2) Iターン, Uターンへの定住促進の事業について</p> <p>(3) 空き家の利活用対策</p> <p>(4) 後継者への花嫁確保の事業の考えは</p> <p>(5) 就農者向けの就農促進事業について</p> <p>(6) 市役所に人口減少対策課の新設対策</p> <p>(7) 市職員の市内居住推進策</p> <p>2 景観条例の制定について</p> <p>(1) 民有地の環境保全について</p> <p>(2) 耕作地放棄対策について</p> <p>(3) ごみ放棄問題対策について</p> <p>3 交通違反処分の基準について</p> <p>(1) ヒヤリ運転と大事故への関係の惨事</p> <p>(2) 人命の尊さの人間行動</p> <p>4 除雪作業について</p> <p>(1) 高齢者私道への除雪サービス</p> <p>(2) 歩道への除雪について</p>
8	13	遊佐辰雄	<p>1 空家等対策の推進に関する特別措置法を具体化する条例を制定し, 危険な空き家等への対応について</p> <p>(1) 条例制定の見通しはどうか</p> <p>(2) 危険な建造物の公費解体ができるようにならないのか</p> <p>(3) 更地になる固定資産税の減免はできないのか</p> <p>2 中小商工業者の振興策について</p> <p>(1) 小規模企業振興基本法が成立し, その活用と今後の大崎の取り組みについてはどのように考えているのか</p> <p>(2) 中小商工業者を元気にするための方策について, その具体策は何か</p>
9	27	佐藤 勝	<p>1 「20万都市への挑戦」で行うべき政策について</p> <p>(1) 「プロジェクト」の現状とこれから</p> <p>ア 復興から再生, 発展期まであと3年</p> <p>イ 「ストップ少子化・おおさき元気戦略」プロジェクト</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
10	25	小沢和悦	<p>で自治体間競争を勝ち抜くために ウ 鳴子向山地域振興プロジェクト</p> <p>(2) 10ヘクタール以上の産業団地に古川新鶴巻地区を (3) 市立大学, 専門学校の開設, 誘致を (4) 富山県南砺市から学ぶ, 移住, 定住をまず台東区からを ターゲットに (5) 大崎市のアピールとイメージトレーニングを</p> <p>1 大崎市周辺自治体から大きく立ち遅れている公共交通体系を, いつまで, どうするおつもりですか (1) 利便性と過大な負担とならない低料金の公共交通体系の水準は, 周辺市町村から大きく遅れている。その認識はあるのか (2) 市長のマニフェスト「公共交通システムの充実と新病院までの循環バス運行」は達成されたと認識しているのか (3) 交通政策基本法等に基づく計画と具体化について (4) 来年度からどうする考えか</p> <p>2 市役所周辺, 市民病院本院移転後の周辺整備計画の具体化について (1) 市役所, 消防本部, (仮称) 道の駅と買い物弱者の声に応える商業施設, 防災広場の配置場所及び建設時期について (2) 回復期リハビリテーションセンター, 夜間急患センターの具体化</p> <p>3 大崎市の救急患者受け入れ態勢について (1) 現状認識と対策</p> <p>4 大崎市民病院本院の患者へのサービス改善について (1) 障害者や身体機能の衰えた患者の院外処方について, 薬店から病院まで持ってきていただくことは違法か。違法でないならば薬店に協力いただいてはいかがか (2) 患者から不満のある駐車場全体の改善について</p> <p>5 米価暴落対策と地元農業保護政策について (1) 市長は総選挙で各政党に米価暴落対策を求めたのか (2) その回答はどのようなものだったのか。また, 市としてはどうするのか</p>
11	24	青沼智雄	<p>1 全国学力調査結果について (1) 学力調査の結果を今年から自治体の判断で学校ごとの成績を公表できるようになったが, 本市ではどうするのか (2) 学力調査では, テストだけではなくアンケートなどによりどんな授業方法や生活習慣が学力向上に役立つかを本市では分析しているのか (3) 総合学習にきちんと取り組んでいる子供や学校は, 国語や算数, 数学の成績も良いという報告があるが, 本市での対応はどうか (4) 学習指導要領で学力低下の批判等を受けて, 主要教科の時間増によって総合学習の時間数が削られたという報</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
12	4	氷室勝好	<p>告もあるが、本市での対応はどうか</p> <p>(5) ニュースをよく見る子、学校行事に関心が高い家庭の子は学力が高い傾向があるという分析結果もあったが、本市での対応はどうか。また、調査結果によれば大半の都道府県は小さな点差の幅におさまっているとのことだが、本市ではどんな対応をしているのか</p> <p>2 攻めの農業政策について</p> <p>(1) 2014年産米価の下落が示す今後の地域農政について</p> <p>ア 需要があるものをつくるのが生産者の原点。巨額の補助金がずっと続くとも思えないが、リスク分散経営をし、国に頼らない経営を目指さなくてはと思うが、いかがか</p> <p>イ 2018年度に廃止すると決めた米の生産調整価格を維持するために国が生産量を決め、従う農家には補助金を出す仕組み。10アールで最大10万5,000円の大盤振る舞いだが、今年産はここ数年とほぼ同水準とのこと。なぜ増えなかったのか</p> <p>ウ 需要を超える主食用米をつくり続ける今日の姿は、農業強化に逆行しているのではないか。11月22日に開かれた「地域経済の危機打開へ！ 県北のつどい」の基調講演の中で、1,000兆円の借金を抱える国の財政はもはや農業を救済する余力はなく、地域が知恵を出し合って農産物を世に出す工夫をすべきだと指摘されている。主食用米から飼料用米、餅菓子用、酒米等への誘導と現段階での課題は何か</p> <p>エ 国の農政と地方自治体と農家を束ねる農協との間に、ともに進めるといふ一体感が乏しいのではないか</p> <p>オ これから地域農業を支える青年層の就農対策について</p> <p>3 地域の将来、人口減少対策について</p> <p>1 スポーツ推進体制について</p> <p>(1) 「スポーツの力」で活力のある地域づくりを推進すべきであるが、今後の取り組みを伺う</p> <p>(2) スポーツによる健康増進や地域社会の再生に向け、教育委員会と首長局が今まで以上に連携し、地域づくりを進める計画が国の方針と聞き及んでいるが、今後の対応を伺う</p> <p>(3) 市制10周年記念の一環として、スポーツによる市民の一体感の醸成が得られる趣旨の提案を含めた質問がされてあるが、取り組みを伺う</p> <p>2 人材育成の具体策について</p> <p>(1) 本市において青年の地域活動支援としてそれぞれ事業に取り組んでいるが、その実態と成果について伺う</p> <p>(2) 青年の集いや学習等の環境への今後の特化した取り組みについて伺う</p> <p>3 学校給食の取り組みについて</p> <p>(1) 老朽化が進んでいる自校調理施設で給食を実施しているのが大半であるが、アレルギー対応食や衛生管理対応</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
13	8	鎌内つぎ子	<p>への現状を伺う</p> <p>(2) 学校給食センター配送エリアイメージ図が公表されているが、今後の取り組みを伺う</p> <p>4 世界農業遺産登録の今後の対応について</p> <p>(1) 今回の世界農業遺産申請に対する大崎地域内の啓蒙及び認知度の差異があったかに伺えるが、いかがか</p> <p>(2) 発展型農業遺産(GIAHS)としての重要性において、大崎地域内の生産される米はJAと連携し、土壌に有機物を施し加えて、減農薬(環境保全米、醸造米等)栽培に取り組んでいるが、これらを表記することは難点があるのか</p> <p>1 子ども・子育て支援法について</p> <p>(1) 学童保育の運営や施設整備について</p> <p>(2) 小規模保育について</p> <p>(3) 企業や商店街へのPRについて</p> <p>2 公民館の利活用について</p> <p>(1) 高齢者の買い物難民を防ぐ対策について</p> <p>3 空き家条例について</p> <p>(1) 制定はいつごろなのか</p> <p>(2) 地域のコミュニティ活用に利用可能な条例を</p> <p>4 老人クラブへの助成について</p> <p>(1) 市単独の助成について</p> <p>5 消防の長靴支給について</p> <p>(1) 全員への支給について</p>
14	23	豊嶋正人	<p>1 情報公開と文書管理のあり方について</p> <p>(1) 情報公開審査会の答申の付帯意見を受け、本年4月1日に文書取扱規程改正後の取り組みと整備状況は</p> <p>(2) 情報公開審査会からの「条例の趣旨と目的を認識し、適切な運用と、職員への周知徹底」の付帯意見への対応</p> <p>2 各種申請書類の押印不要の検討について</p> <p>(1) 国の法令や通知による定めがない限り、各種申請書類の押印不要の取り組みをすべきではないか</p> <p>3 市民相談機能の集約化について</p> <p>(1) 滋賀県野洲市では、市民生活相談課を設置し、相談機能を集約化し、市民への利便を図っている。機構改革にあたり検討の価値があるのではないか</p> <p>4 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正による教育長の任命について</p> <p>(1) 26文科初第490号平成26年7月17日付通知によると、教育長の議会同意に際しては、新「教育長」の担う重要な職責に鑑み、「教育長」の資質・能力を十全にチェックするため、例えば候補者が所信表明を行ったうえで質疑を行うなど、丁寧な手続きを経ることが考えられるとしているが、本市の対応は</p>
15	17	山田和明	<p>1 地域課題の対応について</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
16	14	只野直悦	<ul style="list-style-type: none"> (1) 台風 19 号で浸水被害のあった姥ヶ沢地区の検証と対策について (2) 志田谷地 1 号線の小川橋, 下志田橋の改修工事と, 国道から入り口 100 メートル区間の道路整備について (3) 内ノ浦地区 (110 町歩) の雨水対策と内ノ浦地区の避難場所の確保について (4) 古川大江川沿い (稲葉地区) の浸水対策について <p>2 高齢者肺炎球菌ワクチンの定期接種事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 大崎市の接種率について (2) 接種率の向上策について <p>1 民俗芸能の保存伝承について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 神楽など民俗芸能を保存伝承する取り組みについて (2) 無形民俗文化財の指定について <p>2 障害者と高齢者を支えるスポーツ環境の整備について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 障害者スポーツの理解と支援について (2) 加護坊パークゴルフ場の「乗用モノレール」の設置について <p>3 ふるさと納税の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本市の実績と今後の推進方針について (2) 返礼品の見直しについて <p>4 本庁舎等の建設計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本庁舎の建設計画について (2) 鳴子と田尻の総合支所建設について
17	18	後藤錦信	<p>1 鳴子ダムと大崎市の連携について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 土木遺産への取り組みについて (2) ダム下流側の利活用について <p>2 世界農業遺産への再挑戦について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 申請内容の再構築について (2) 取り組み体制の強化について (3) 地域全体の認識と共有について
18	10	加藤善市	<p>1 過疎対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 空き家を利用した新市民確保 (2) 2世帯同居のすすめ <p>2 市民にわかりやすい入札制度について</p> <p>3 農業の再構築の取り組みについて</p>
19	6	中鉢和二郎	<p>1 幼児の「ことばの教室」について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 「ことばの教室」は, 現在ではよく知られるものとなっているが, 1958 年に仙台・通町小学校に言語障害特殊学級が設置されたのが起源とされる。 市内小学校にも多くの「ことばの教室」が設置され, これまで, 児童のことばの発達支援に寄与してきたと考える。 一方, 幼児期から指導を開始することにより, より効果が発揮できるとされているものの, 公設の幼児の「こ

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
20	11	横山悦子	<p>とばの教室」がないのが実情である。 公設の幼児の「ことばの教室」設置について所見を伺う</p> <p>2 子どもの発達支援について</p> <p>(1) 先般、会派の視察研修(政務活動)で京都府舞鶴市の「子どもの発達支援」について学んできた。 舞鶴市では、早期発見、早期支援、一貫した支援、就労、生活支援のように発達支援に関わる取り組みを体系化し進めている。 支援が必要な園児に対し、適切な支援方法を助言し、個別の支援につなげる「にじいろ個別支援システム」と呼ばれるシステムがあり、個々に発達支援員が配置され、個別支援計画が策定され計画に基づく支援がなされていた。 本市においても同様の「個別支援システム」が必要と考えられるが、所見を伺う</p> <p>(2) また、先般、民生常任委員会で児童発達支援センター「りんごのほっぺ」を現地調査した。就学前の子どもの発達支援を行う通所施設だが、開所したばかりで利用者はまだ3名とのことであった。こうした施設の周知や利用拡大を図るべきと考えるが、所見を伺う</p> <p>(3) さらに、定員10名では将来的に施設の供給不足が心配されるが、今後の整備計画を伺う</p> <p>3 定住促進について</p> <p>(1) 先般、会派の視察研修(政務活動)で京都府綾部市の「定住サポート事業」について学んできた。 平成20年度に定住サポート総合窓口を設置し、空き家バンク、定住希望者相談活動を開始し、平成22年度には定住促進課を設置、翌年には定住交流部を設置し、「交流から定住へ。定住から地域振興へ」をスローガンに転入者増に向けた施策を展開している。 その成果として、平成20年度から平成25年度までの6年間で、272人(117世帯)の定住者を迎え入れたとのこと。※目標値：15世帯/年 人口約3万5,000人の広い中山間地域を抱える地方都市に、これだけのUIターンを呼び込んでいるのは驚くべきことである。 人口減少対策が喫緊の課題となっている今、学ぶ点が多いと考えるが、所見を伺う</p> <p>1 火災対策について</p> <p>(1) 既存住宅への住宅用火災警報器の設置促進の考えは</p> <p>(2) 火災情報を希望者の携帯にメール配信する考えは</p> <p>(3) 広報等で消防団をもっと応援してはどうか</p> <p>(4) 消防水利のさらなる充実の考えは</p> <p>ア 消火栓設置状況</p> <p>イ 防火水槽の設置促進の考えは</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
21	9	木村和彦	<p>2 自転車の安全運転対策について</p> <p>(1) 自転車の交通安全教室の開催の状況は</p> <p>(2) 自転車専用レーンの整備の考えは</p> <p>(3) 自転車保険の加入促進の考えは</p> <p>ア 現状と今後の取り組み</p> <p>(4) 自転車の安全走行のための条例制定の考えは</p> <p>3 塚目駅周辺の整備について</p> <p>(1) 駐輪場、公衆トイレの改修の考えは</p> <p>4 病院事業について</p> <p>(1) がんの早期発見におけるPET-CTの活用はどうか</p> <p>(2) ドクターヘリの受け入れ態勢について</p> <p>ア 県や他県との協議</p> <p>イ 他の病院との連携</p> <p>1 大崎市の産業施策は</p> <p>(1) 大崎市の産業施策の中心をどこに置くのか</p> <p>ア 農業は米として進めるのか、どこまで付加価値を高めるのか</p> <p>イ 工業施策での地元事業者のさらなる共同、共生の考え方は</p> <p>ウ 工業団地の整備が進められているが、誘致企業をどこに焦点を当てているのか</p> <p>2 中心市街地の新たな設定は</p> <p>(1) 古川地域の2核2軸は生きているのか</p> <p>ア 病院移転後の「まちなみづくり」と旧商店のかかわり</p> <p>イ 災害公営住宅完成後の「歩いて暮らせるまち」</p> <p>ウ 図書館整備後、中央公民館の場所の選定は</p> <p>(2) 鹿島台駅周辺の整備と中心商店街の考え方は</p> <p>ア 駅が町の中心となり得るのか</p> <p>3 松山幼保一元施設について</p> <p>(1) 将来の運営形態、民間委託の考え方は</p> <p>(2) 幼小中連携で一体整備の考え方は</p> <p>ア 進まない地域の統合問題と要望がある地域の優先順位の考え方は</p>
22	5	佐藤弘樹	<p>1 米価下落による農業支援策と施策周知</p> <p>2 地域商店街の現状認識と活性化策</p> <p>3 「一般社団法人みやぎ大崎観光公社」の役割と連携体制</p> <p>4 ご当地キャラクター及びゆるキャラを活用したPR策</p> <p>5 新市民病院本院開業後の課題対応（駐車場、会計、診断書）</p> <p>6 本院の救急搬送受け入れ体制</p> <p>7 院内保育所の環境整備</p> <p>8 各分院の医師及び診療体制</p> <p>9 「おおさき子どもサミット」での提案反映と回答状況</p> <p>10 各地域図書室の人員体制と図書購入</p> <p>11 「音楽が聞こえる都市（まち）づくり」の効果と今後</p> <p>12 「鹿島台駅周辺まちづくり事業」の計画進捗状況と見通し</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
23	21	門間 忠	<p>1 27年度予算編成について</p> <p>(1) 27年度一般会計予算総額の予定と各特別会計予算総額はどの程度に見込んでいるのか</p> <p>(2) 総合計画の実施計画と震災復興計画を合わせた進捗率の目標をいかに設定しているのか</p> <p>(3) 行政改革の検証とポスト行革プランへの考えは。特に定員適正化計画の終了と今後の方針について</p> <p>(4) 人件費、扶助費、公債費の義務的経費の将来推計と、交付税や市税収入等の長期的なバランスをいかに研究されているか</p> <p>(5) 非常勤職員の賃金単価表の改定はあるのか</p> <p>2 農業振興政策について</p> <p>(1) 米価の低迷等の長期化が予想されるが、対応策について</p> <p>(2) 大崎市食料、農業及び農村基本条例による、大崎市農業農村振興戦略会議の設置について</p>
24	19	氏家善男	<p>1 農業政策について</p> <p>(1) 米価大幅下落への支援策について</p> <p>ア 集団化、法人化の現状について</p> <p>イ 種もみ助成の考えは</p> <p>(2) 農地集約化事業について</p> <p>ア 中間管理機構における担い手の状況アンケートの結果</p> <p>2 山村振興法の活用と市の政策について</p> <p>(1) 合併後の山村振興法をどう活用したのか。また、事業策定などの今後の取り組みについて</p> <p>(2) 公共施設のみならず、林業としての産業の活路を見出すべき</p> <p>3 住宅政策について</p> <p>(1) 空き家対策について</p> <p>ア 空き家への定住促進</p> <p>イ 解体促進への誘導策としての固定資産税の優遇措置の考え</p> <p>ウ 条例化による恒久的な考え方について</p> <p>(2) 公共施設の空き家について</p> <p>ア 旧岩出山保健所の解体について</p> <p>イ 岩出山教員住宅の考え方について</p>
25	1	佐藤仁一郎	<p>1 地区公民館の指定管理状況について</p> <p>(1) 第1期の3年間の効果と課題はどうか</p> <p>(2) 第2期に向けての方針はどうか</p> <p>2 基幹公民館の指定管理移行について</p> <p>(1) 地区公民館同様に基幹公民館を指定管理する場合の課題は何か</p> <p>(2) 基幹公民館を指定管理する場合の行政の支援は</p> <p>3 話し合う協働のまちづくり条例推進に向けた庁内の取り組み体制の確認と地域の取り組み状況について</p> <p>(1) 庁内プロジェクト体制と職員の研修は</p> <p>(2) 各支所における協働の支援体制、担当職員以外の協力体</p>

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
26	12	関 武徳	<p>制は</p> <p>(3) 地域づくり及びまちづくり協議会の取り組み状況は</p> <p>1 平成 27 年度予算編成における主要課題と取り組みについて</p> <p>(1) 次年度予算編成下において主要課題をどう捉えているのか</p> <p>(2) まちなか再生や人口減少問題対策は具体的取り組み体制へ進めるのか</p> <p>(3) 地方創生への取り組みと政策誘導の考えを伺う</p> <p>(4) 経済対策や産業振興はどうか展開する考えか</p> <p>(5) 合併 10 年の総括と新たな市政発展施策の考え方について</p> <p>2 常襲冠水地域対策の進捗について</p> <p>(1) 台風襲来による風雨被害と対策のあり方について</p> <p>(2) 常襲冠水地域（稲葉、城西、大幡）への解消対策の進捗について</p>	